特定非営利活動法人草加市カヌー協会

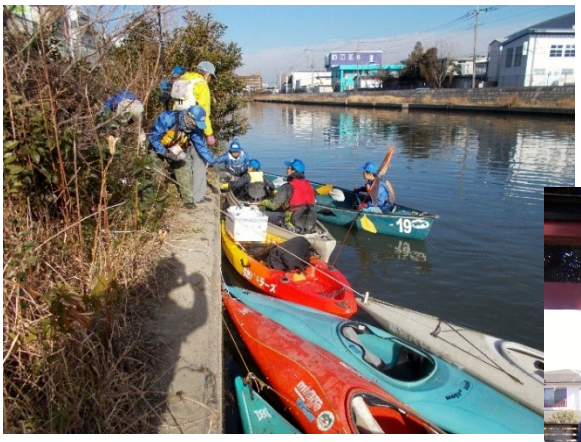
草加パドラーズ

[会報第 129 号] 平成 31 年 1 月 22 日発行

□草加パドラーズ事務局　住所　草加市松江 2-4-16□電話　048-931-3844

みんなで素敵な街をつくります!

椎木稲荷（しいのきいなり）の美化活動



1 月 20 日(日)、椎木稲荷境内のゴミ拾いに木村、古田、佐藤宣、佐藤し、篠岡、田中照、大原、矢部、中島、二ノ宮、田中佑、田中志、田中按、伊丹の 14 名が参加。

パドラーズが何で・・・

三つの願い③水辺を活かした街づくりの一環で実施しました。これで、椎木稲荷・中央公民館船着場の下地ができました。

草加開宿に貢献した中大川家のこのお稲荷さまと、樹齢 300 年を超える椎の古木はこの神社のシンボルで草加市の貴重な文化遺産と云えます。神様に商売繁盛、家内安全、学業成就などをお願いし、しばし自分の心と向き合うといいですね。

住吉二丁目のこの付近に、行政と協力して船着場を作り、いずれカヌー教室や親子カヌー体験会を実施したいですね。

問題の船着場改修工事

706万円を使って何をする？

　文化観光課、河川課の課長さんの説明によると、和舟乗船体験者の乗り降り階段スペースを2倍の広さにして、利便性、安全性を高める目的の工事だそうです。これによって和舟を利用した観光事業の一歩前進を考えているそうです。

　この事業をお聞きして、階段部分の角が30㎝以上の段差が出来、重大な事故発生が危惧される計画であることが分かりましたので、市議さんを通して市長さんへ工事中止を依頼しましたが、市の計画として、市議会、市長決済、担当部署の業者選定、工事準備などを多くの人の手を経ての計画なので中止できない・・とのお返事でした。

《行政と話し合い！》

22日(火)、杉浦課長、石倉部長、曽合部長3 名と木村、古田、矢部、中島が話し合いました。

①草加パドラーズは、今回はこの工事を容認しますが、しっかりと危険個所の改善を確実にお願いしたい。

②草加パドラーズを和舟と同様に観光行政に組み入れ、私たちの活動を支援していただきたい。(行政と一緒に、水辺を活かした魅力ある街づくりをしたい)

③草加パドラーズの活動が、社会性、公益性、青少年健全育成などの普遍的価値観を内包していることを理解していただきたい。(人づくり、ふるさとづくり)

④今後は、丁寧な説明、市民の心を大事にし、期待に応える仕事をしていただけるようお願いしたい。(信頼される市役所)

⑤草加パドラーズと草加市と協定書を交わしていただきたい。(曽合部長*各部署を横断的にとらえ、調整を図り、後日提案いたします。少し時間をいただきたい。)

　以上が話し合った項目と内容の概略です。